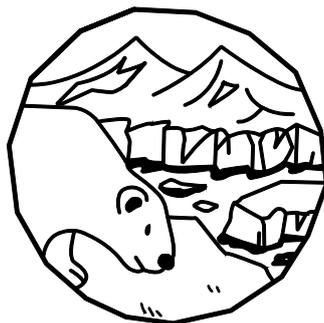
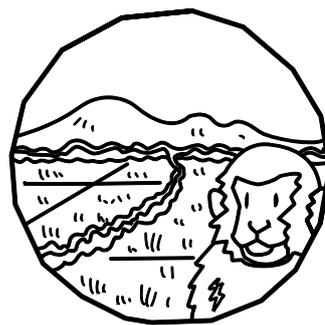


平成 23 年度 高知県教育公務員長期研修生(研究生)

【研究課題】

中学校社会科における思考力・表現力を育成する  
指導方法及び教材の開発

# 学習指導案・ワークシート事例集 (地理的分野)



高知県教育センター

研究生 中川 千穂  
指導主事 片山 真由美

## 【目次】

○単元観、指導計画	1
1－① 世界各地の伝統的な生活	3
1－② 世界各地の伝統的な生活～人々の暮らしと宗教～	11
2 日本での伝統的な生活	17
3 変化する生活	23
4 古都(京都・奈良)に見る伝統文化	30
5 独自の生活文化をもつ沖縄	33
6 世界の様々な地域の調査	36

## 第2学年 社会科（地理的分野）学習指導案

指導者 中川 千穂

### 1 単元名 世界と日本の生活と文化

### 2 単元について

学習指導要領では、「世界各地の人々の生活と環境」について、世界各地の人々の生活の様子を衣食住や宗教とのかかわりを中心に、自然及び社会的条件と関連付けて考察させ、世界中の人々の生活や環境の多様性を理解させることをねらいとしている。

本単元では、世界各地における人々の生活とその変容について、自然及び社会的条件と関連付けて考察させるとともに、日本人のくらしの変化、歴史的な町並みが残る地域や独自の文化をもつ地域などを取り上げ、我が国の伝統と文化への尊重と理解を深めることが重要であるといえる。

具体的には、自然環境とそれに関係する衣食住を事例として取り上げ、写真などの資料を用いて、伝統的な生活や人々の生活の工夫にもふれる。ただし、授業を展開するにあたっては、一つの事例が生活全体あるいは地域全体の特徴としてとらえるという過度な一般化をさける必要があり、伝統的な生活様式が他の文化との接触や新しい技術の導入、経済活動の活発化によって可変するものであることに留意したい。

また、日本の地域については、動態地誌的な展開となっているので、指導にあたっては、「中核方式」で考察させ、地域的特色をとらえさせるものとする。

### 3 単元の目標

- (1) 世界各地の人々の生活と環境の多様性について関心をもち、課題について意欲的に追究する。
- (2) 世界各地の人々の生活と環境について、自然及び社会的条件と関連付け、人々の生活の様子とその変容を基に多面的、多角的に考察し、適切に表現する。
- (3) 世界各地の人々の生活と環境について取り上げられた、多様な資料や有用な情報を適切に選択し、読み取ったり、図表などにまとめる。
- (4) 世界各地の人々の生活と多様性について、自然及び社会的条件と関連付け、人々の生活の様子と変容を理解し、その知識を身に付ける。

### 4 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
世界各地の人々の生活と環境の多様性に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	世界各地の人々の生活と環境の多様性を、自然及び社会的条件と関連付け、人々の生活の様子とその変容を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	世界各地の人々の生活と環境の多様性に関する様々な資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり、図表などにまとめたりしている。	世界各地の人々の生活と環境の多様性について、自然及び社会的条件と関連付けた人々の生活の様子とその変容を理解し、その知識を身に付けている。

5 指導と評価の計画 (12時間)

次	学習内容 (時数)	評 価				評価規準	評価方法
		関	考	技	知		
1	世界各地の伝統的な生活 (1)		◎	◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>世界各地の人々の生活の様子を示した資料から、自然や社会的な変化について、有用な資料を活用し、まとめている。</li> <li>世界各地の人々の生活の様子を示した資料から、自然と社会的な条件について、様々な面から考え、変化に着目しながら、生活の可変性について説明している。</li> </ul>	行動観察 ワークシート 読み取りテスト
2	世界各地の伝統的な生活 (2)	◎			◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界各地の人々の生活の様子を示した資料から、人々のくらしと宗教とのかかわり等について、課題に関心をもって、意欲的に取り組んでいる。</li> <li>世界各地の人々の生活と様子を示した資料から、人々のくらしと宗教とのかかわり等について、理解している。</li> </ul>	行動観察 ワークシート レポート
3	日本の伝統的な生活 (1)	◎		◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の伝統的なくらしの特色について、意欲的に課題を追究している。</li> <li>ドイツと日本の食事を比較し、その背景について多面的・多角的に考察している。</li> </ul>	行動観察 ワークシート 読み取りテスト
4	変化する生活 (1)		○		◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際化の進展は、日本人のくらしにどのような変化をもたらしたのか、いくつかの事例から説明している。</li> <li>昭和30年代の日本と、現在の生活と比べて、変化しているところを分かりやすく、まとめている。</li> </ul>	行動観察 ワークシート 読み取りテスト
5	古都(京都・奈良)に見る伝統文化 (1)	○			◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>京都や奈良の歴史的な町並みが残っている背景について、意欲的に課題を追究している。</li> <li>歴史的な町並みが残っている地域が、どのような取組をしているのか、理解している。</li> </ul>	行動観察 ワークシート
6	独自の生活文化をもつ沖縄 (1)			○	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄の自然などについて述べた資料から、沖縄の生活や文化についてまとめている。</li> <li>沖縄の自然、文化、産業などについて、特色を理解している。</li> </ul>	行動観察 ワークシート
7 8 9 10 11 12	世界の様々な地域の調査 (6)	◎		◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の生活や文化に関する調査について、意欲的に課題を追究している。</li> <li>世界の生活や文化に関する調査について、多面的・多角的に調査、考察、表現している。</li> <li>世界の生活や文化に関する調査について、地図や文献、インターネット情報等の諸資料を読み取り、有効に活用している。</li> <li>調査結果を分析し、整理してレポートにまとめている。</li> </ul>	行動観察 ワークシート レポート

「1—① 世界各地の伝統的な生活」

(1) 本時の目標

- ・世界各地の人々の生活の様子を示した資料から、自然と社会的な条件について、様々な面から考え、変化に着目しながら生活の可変性について説明できる。
- ・世界各地の人々の生活の様子を示した資料から、自然や社会的な変化について、有用な資料を活用し、まとめることができる。

(2) 観点別評価規準

- ・世界各地の人々の生活の様子を示した資料から、自然や社会的な変化について、有用な資料を活用しまとめている。  
【資料活用の技能】
- ・世界各地の人々の生活の様子を示した資料から、自然と社会的な条件について、様々な面から考え、変化に着目しながら生活の可変性について説明している。  
【社会的な思考・判断・表現】

(3) 準備物

- ・ワークシート、地図帳、資料（写真等）、読み取りテスト

(4) 本時の展開（1/2）

	○学習活動・予想される生徒の反応	指導上の留意点	評価規準	評価方法
導入 3分	○世界の気候帯（5つ）を確認する。 （一斉：3分） ・5つ気候帯を確認する。	・世界の気候帯（5つ）の位置を全員で確認する。 ※ できればカラーなどで、分かりやすいものを使用する。		
展  開 32分	○乾燥帯と熱帯の暮らしについて考える。（個人：5分）→（グループ：7分）→（一斉：3分）  この2つの住居の写真は、乾燥帯と熱帯の地域でよく見られるものです。なぜ、このような住居が多く見られるのか、その理由を説明しなさい。 <b>（※ 目的・手段に関する分析的知識：状況認識）</b>	・乾燥帯と熱帯の住居が「世界の気候帯」の分布図で、どの位置になるのか最初に確認させる。  ・「努力を要する」生徒については、それぞれの写真の素材や家の形に注目させ、特徴的な所に印を付けさせる。 ・「十分に満足できる」生徒には、日本の気候との違いを、写真の特徴から考えさせる。 <b>※ 乾燥帯、熱帯の住居の資料から状況を認識し、快適に住むためにどのような様式になっているのかを考えさせる。</b>	・世界各地の人々の生活の様子を示した資料から、自然や社会的な変化について、有用な資料を活用し、まとめている。 <b>【資料活用の技能】</b>	行動観察 ワークシート
	○イヌイットの人たちの暮らしについて考える。（個人：4分）→（グループ：10分）  イヌイットの人たちの暮らしは、どのように変化していますか。また、それは、なぜだと思いますか。 <b>（※ 過程に関する分析的知識：変化の概括）</b>	・「努力を要する」生徒については、二つの写真の比較をさせ、気付いたことを記入させる。 ・「十分に満足できる」生徒には、世界や日本の現代の生活様式について想起させ、その背景についても考えさせる。 <b>※ どのように変わったかという変化の概括、今の自分たちの生活との違いを具体的につかむことで、変化の背景を考えさせる。</b>	・世界各地の人々の生活の様子を示した資料から、自然と社会的な条件について、さまざまな面から考え、変化に着目しながら、生活の可変性について説明している。 <b>【社会的な思考・判断・表現】</b>	行動観察 ワークシート
まとめ 15分	○テストをする。	・本時の学習についての確認をする。	読み取りテスト	

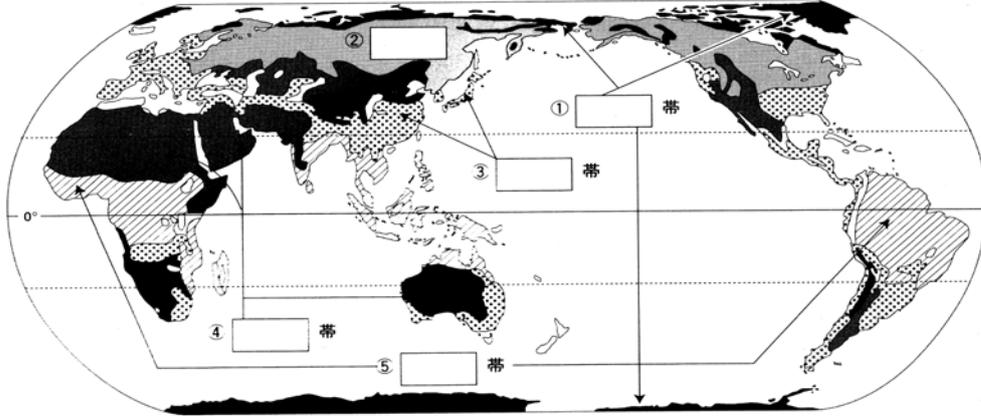
# ワークシート① 世界各地の伝統的な生活（生徒用）

2年 名前（ ）

## 1 世界の気候帯

[作業 ①] 【知識・理解】

○地図帳を参考に、①～⑤に当てはまる気候帯を答えなさい。



解答らん

①（ ）帯      ②（ ）帯      ③（ ）帯  
④（ ）帯      ⑤（ ）帯

## 2 資料から読み取ろう ①

[作業 ②] 【資料活用の技能】



問：


2 資料から読み取ろう ②

[作業 ③] 【思考・判断・表現】



1984年



1997年

問：


参考資料

[作業①] 「中学地理 5 分間 ミニテスト」 加藤 好一 民衆社

[作業②] <http://4travel.jp/overseas/area/europe/turkey/nemrutdagi/tra...>  
<http://blog.goo.ne.jp/hiko9103/m/200908>

[作業③] 「新しい社会 地理」 東京書籍

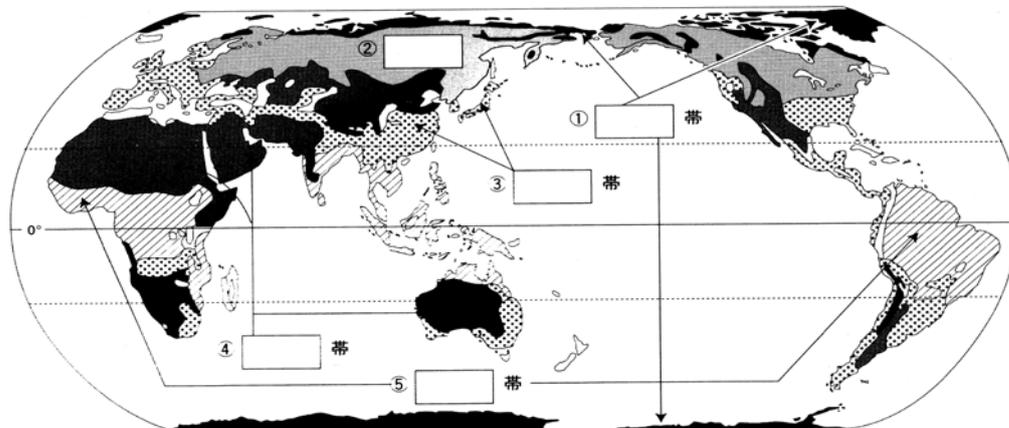
# ワークシート① 世界各地の伝統的な生活（教師用）

## （発問・解答・評価規準）

### 1 世界の気候帯

[作業 ①] 【知識・理解】

○地図帳を参考に、①～⑤に当てはまる気候帯を答えなさい。



解答らん

- ①（寒）帯      ②（冷または亜寒）帯      ③（温）帯  
④（乾燥）帯      ⑤（熱）帯

### 2 資料から読み取ろう ①

[作業 ②] 【資料活用の技能】



問：この2つの住居の写真は、乾燥帯や熱帯の地域で、よく見られるものです。なぜ、このような住居が多く見られるのか、その理由を説明しなさい。

〈単元の評価規準〉

世界各地の人々の生活と環境の多様性に関する様々な資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり、図表などにまとめたりしている。

[◎評価規準をもとに、B評価になる場合]

乾燥帯の住居は、土でできていることから、雨がほとんど降らない乾燥した気候であることが分かる。

また、窓が小さいので、暑さも厳しいのではないかと思う。

一方、熱帯の住居は、高床式になっており、湿気を逃がすつくりになっていることから、雨がたくさん降ることがわかる。窓も大きく開いているので、風通しを良くしようとしていると思う。暑くて雨の多い気候だと思う。

[◎評価規準をもとに、B評価になる根拠]

- ・家の素材や窓などといった同じものをとらえて比較している。
- ・住居の特色と気候とのかかわりを具体的な根拠をあげ、述べられている。

[◎評価規準をもとに、A評価になる場合]

乾燥帯の住居は、土でできていることから、雨がほとんど降らない乾燥した気候であることが分かる。

雨が降らないと思ったのは、家の素材が土でできているからで、そこからも、植物が育ちにくい乾燥の気候帯であることがわかる。また、窓が小さいので、暑さも厳しいのではないかと思う。

一方、熱帯の住居は、高床式になっており、湿気を逃がすつくりになっていることから、雨がたくさん降ることがわかる。窓も大きく開いているので、風通しを良くしようとしていると思う。屋根などの素材に木やヤシなどの植物が使われていることから暑くて雨の多い気候だと思う。

[◎評価規準をもとに、A評価になる根拠]

- ・植生と気候との結びつきについても述べている。

[◎評価規準をもとに、C評価になる場合]

乾燥帯の住居は、土でできているし、窓も小さい。

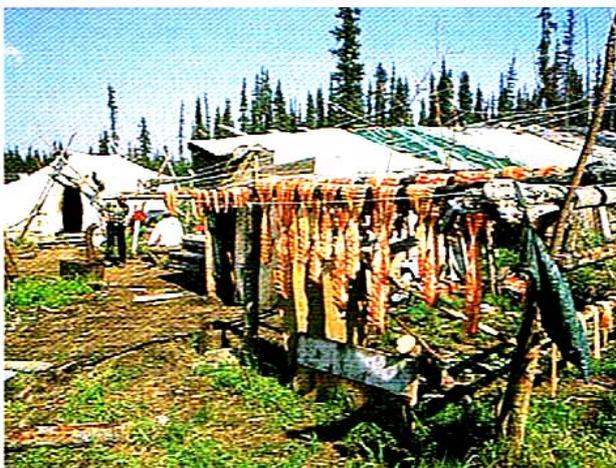
一方、熱帯の住居は、高床式になっており、窓も大きく開いている。

[◎評価規準をもとに、C評価になる根拠]

- ・写真の資料から分かることを述べているだけで、根拠となる事実を示していない。

2 資料から読み取ろう ②

[作業 ③] 【思考・判断・表現】



1984年



1997年

問：イヌイットの人たちのくらしは、どのように変化していますか。  
また、それはなぜだと思いますか。

〈単元の評価規準〉

世界各地の人々の生活と環境の多様性を、自然及び社会的条件と関連付け、人々の生活の様子とその変容を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。

[◎評価規準をもとに、B評価になる場合]

**テントや肉を干している**写真から、イヌイットの人たちの**伝統的なくらしは、自給自足**であることが分かる。一方、近代的なくらしでは、**住居も見ても日本と同じような建物**になっている。また**電柱から、家電製品を使う生活**になっていることが分かる。

[◎評価規準をもとに、B評価になる根拠]

- ・資料をもとに今の生活との比較ができている。自給自足から消費型の生活へと変化していることも読み取れている。

[◎評価規準をもとに、A評価になる場合]

**テントや肉を干している**写真から、イヌイットの人たちの**伝統的なくらしは、自給自足**であることが分かる。一方、近代的なくらしでは、**住居も見ても日本と同じような建物**になっている。また**電柱から、家電製品を使う生活**になっていることが分かる。

**自分たちと似通った生活**になっていることから、**貿易や科学技術の発達**が大きく影響していると思う。**私たちの生活は、自然環境だけでなく、社会的な条件の影響も受けることが分かる。**

[◎評価規準をもとに、A評価になる根拠]

- ・社会的背景まで、説明できている。

[◎評価規準をもとに、C評価になる場合]

昔は、テントで生活をしているが、今は、日本と同じような住居に住んで、自分たちの生活とあまり変わらない。

[◎評価規準をもとに、C評価になる根拠]

- ・写真の資料から分かることを述べているだけで、根拠となる事実を示していない。生活の違いについて、細かい所まで、事実を述べていない。

参考資料

[作業①]「中学地理 5 分間 ミニテスト」 加藤 好一 民衆社

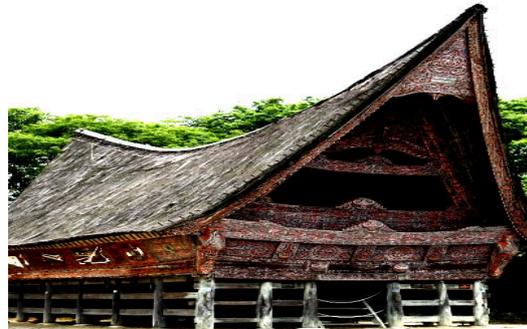
[作業②] <http://4travel.jp/overseas/area/europe/turkey/nemrutdagi/tra...>

<http://blog.goo.ne.jp/hiko9103/m/200908>

[作業③]「新しい社会 地理」東京書籍

# 資料からの読み取りテスト 1

2年 名前 ( )



問1

乾燥帯と熱帯の写真を見て、問いにしたがって記入しなさい。

①資料から見つけた <b>事実</b>	②事実から <b>推測</b> されること
➡	
⬇	
<b>③乾燥帯と熱帯の気候の特徴についての自分の考え(結論)</b>	
★ 条件:これらの語群を使いましょう。 [乾燥帯、熱帯、気温、降水量]	
-----	
-----	
-----	
-----	
-----	

# 資料からの読み取りテスト 1

2年 名前 ( )



## 問1

乾燥帯と熱帯の写真を見て、問いにしたがって記入しなさい。

### ①資料から見つけた**事実**

土でできている。  
草や木がまわりにない。  
窓が小さい。  
植物でできている。  
窓が大きく開いている。  
高床式になっている。

### ②事実から**推測**されること

雨が降らない。  
乾燥している。  
暑さが厳しい。  
熱帯の植物が使われている。  
風が通りやすい。

### ③乾燥帯と熱帯の気候の特徴についての自分の考え(結論)

★ 条件:これらの語群を使いましょう。 [乾燥帯、熱帯、気温、降水量]

乾燥帯と熱帯は、ともに気温が高い**気候**であることが分かる。  
ただし、同じように**気温**が高くても、**降水量**に大きな違いがあるため、家の特徴も大きく変わってくると考えられる。乾燥帯は、雨がほとんど降らないが、熱帯では、一年中雨がよく降ると考えられる。

【評価規準】 ※思考力・表現力がついているかを測る目安

- 語群の言葉をすべて使用していること。
- ①事実や②推測から、自分の考えを主張していること。

「1-② 世界各地の伝統的な生活」(人々の暮らしと宗教)

(1) 本時の目標

- ・世界各地の人々の生活の様子を示した資料から、人々の暮らしと宗教とのかかわり等について、課題に関心をもって、意欲的に取り組む。
- ・世界各地の人々の生活の様子を示した資料から、人々の暮らしと宗教とのかかわりについて、理解する。

(2) 観点別評価規準

- ・世界各地の人々の生活の様子を示した資料から、人々の暮らしと宗教とのかかわり等について、課題に関心をもって、意欲的に取り組んでいる。 **【社会的事象への関心・意欲・態度】**
- ・世界各地の人々の生活と様子を示した資料から、人々の暮らしと宗教とのかかわり等について、理解している。 **【社会的事象についての知識・理解】**

(3) 準備物

- ・ワークシート、地図帳、レポート

(4) 本時の展開 (2/2)

	○学習活動・予想される生徒の反応	指導上の留意点	評価規準	評価方法
導入 5分	○世界の主な宗教の分布について考える。(一斉：5分) ・キリスト教は、ヨーロッパに多い。 ・イスラム教は、西アジアやアフリカの北部に多い。 ・仏教は、インドで生まれたが、実際には、ヒンドゥー教がさかん。	・宗教の分布図やグラフから、世界の宗教の特色をつかむ。 ※全体で内容を確認し、説明して、世界の宗教の特色をつかむ。		
展  開  25分	○日本の生活と文化と宗教とのかかわりについて考える。(個人：5分)(一斉：5分) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">日本の主な年中行事は、どのような宗教とのかかわりがありますか。 <b>(※ 記述的知識:常識的な構成要素)</b></div> ・初詣は神社で行われる。 ・ひな祭りは、平安時代からある行事。 ・お盆は、仏教の行事 ・クリスマスは、キリスト教と関係がある。	・「努力を要する」生徒については、資料と年中行事との結びつきを先にさせるようにする。 ・「十分に満足できる」生徒には、歴史的な背景のあるものを考えさせる。 ※ 年中行事と写真をもとに、宗教との結びつきを具体的にとらえさせる。	・世界各地の人々の生活の様子を示した資料から、人々の暮らしと宗教とのかかわり等について、理解している。 <b>【社会的事象についての知識・理解】</b>	行動観察 ワークシート
	○日本人と宗教とのかかわりを考える。(個人：5分) → (グループ：10分) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">日本人の生活の中に、さまざまな宗教に関係する行事が存在しているのは、なぜだと思いますか。(グループで、意見交流をしながら、自分の考えを振り返る。) <b>(※ 規範的知識:理由付け、結論)</b></div> ・日本人は宗教に対するこだわりがない。 ・明治時代の文明開化の影響があるから、いろいろな宗教が生活の中に入っている。	・「努力を要する」生徒については、グループ協議での協議も参考にさせる。 ・「十分に満足できる」生徒については、いろいろな宗教が受け入れられた背景についても考えさせる。 ※ 自分が大切にしたい意見について、内省し、他者の意見を参考にしながら、自分なりの結論へと導いていく。	・世界各地の人々の生活の様子を示した資料から、人々の暮らしと宗教とのかかわり等について、課題に関心をもって、意欲的に取り組んでいる。 <b>【社会的事象への関心・意欲・態度】</b>	行動観察 レポート
まとめ 20分	○自分の考えをレポートにまとめる。	・グループでの意見交流などを振り返り、最終的な自分の考えをレポートにまとめる。		

## ワークシート② 世界各地の伝統的な生活（生徒用）

2年 名前（ ）

### 1 日本人の生活と宗教

[作業 ①]【知識・理解】

○次の言葉や写真は、日本のおもな年中行事などについて述べたものです。  
それぞれの行事の設問に合った写真と宗教名を記号から選び、（ ）の中を書きなさい。ただし、宗教と関係のないものには、／線を書きなさい。

- |   |     |                  |             |
|---|-----|------------------|-------------|
| ① | 1月  | 初詣・門松・おせち料理…………… | 写真（ ）、宗教（ ） |
| ② | 2月  | 節分……………          | 写真（ ）、宗教（ ） |
| ③ | 3月  | ひな祭り……………        | 写真（ ）、宗教（ ） |
| ④ | 5月  | たんごの節句……………      | 写真（ ）、宗教（ ） |
| ⑤ | 7月  | 七夕……………          | 写真（ ）、宗教（ ） |
| ⑥ | 8月  | お盆……………          | 写真（ ）、宗教（ ） |
| ⑦ | 11月 | 七五三……………         | 写真（ ）、宗教（ ） |
| ⑧ | 12月 | クリスマス……………       | 写真（ ）、宗教（ ） |
| ⑨ | 結婚式 | 1……………           | 写真（ ）、宗教（ ） |
| ⑩ | 結婚式 | 2……………           | 写真（ ）、宗教（ ） |

(⑨と⑩は、順不同でもOK。ただし、写真と宗教の組み合わせは一致していること。)

[宗教] A. 神道、 B. 仏教 C. キリスト教





キ



ク



ケ



コ

#### 参考資料

<http://images.pingmag.jp/images/article/hina01.jpg> (ひな祭り)

<http://www.flickr.com/photos/yokohama67yoko/388683426/> (クリスマスツリー)

<http://www.nagoya-yomeiri.jp/?m=201102&cat=3> (神前結婚式)

<http://hibakama.seesaa.net/article/66138392.html> (七五三)

<http://chibikro.blog.so-net.ne.jp/2007-07-04> (七夕)

<http://www.wanoa.com/articles/1657/> (初詣)

[http://www.suginamigaku.org/content\\_disp.php?c=44e00a25350b1...](http://www.suginamigaku.org/content_disp.php?c=44e00a25350b1...) (盆踊り)

<http://susono.jugem.jp/?eid=119> (節分)

[http://kobe-mari.maxs.jp/kamikawa/greenecho\\_kasagata.htm](http://kobe-mari.maxs.jp/kamikawa/greenecho_kasagata.htm) (こいのぼり)

[http://zexy.net/wedding/exp/c\\_7770043801/s\\_0000013674](http://zexy.net/wedding/exp/c_7770043801/s_0000013674) (チャペル結婚式)

## ワークシート② 世界各地の伝統的な生活（教師用）

### （発問・解答・評価規準）

#### 1 日本人の生活と宗教

[作業 ①] 【知識・理解】

○次の言葉や写真は、日本のおもな年中行事などについて述べたものです。

それぞれの行事の設問に合った写真と宗教名を記号から選び、( ) の中に書きなさい。ただし、宗教と関係のないものには、/線を書きなさい。

- |   |     |                  |               |
|---|-----|------------------|---------------|
| ① | 1月  | 初詣・門松・おせち料理…………… | 写真 (カ)、宗教 (A) |
| ② | 2月  | 節分……………          | 写真 (ク)、宗教 (A) |
| ③ | 3月  | ひな祭り……………        | 写真 (ア)、宗教 (A) |
| ④ | 5月  | たんごの節句……………      | 写真 (ケ)、宗教 (A) |
| ⑤ | 7月  | 七夕……………          | 写真 (オ)、宗教 (/) |
| ⑥ | 8月  | お盆……………          | 写真 (キ)、宗教 (B) |
| ⑦ | 11月 | 七五三……………         | 写真 (エ)、宗教 (/) |
| ⑧ | 12月 | クリスマス……………       | 写真 (イ)、宗教 (C) |
| ⑨ | 結婚式 | 1……………           | 写真 (ウ)、宗教 (A) |
| ⑩ | 結婚式 | 2……………           | 写真 (コ)、宗教 (C) |

(⑨と⑩は、順不同でもOK。ただし、写真と宗教の組み合わせは一致していること。)

[宗教]

A. 神道、

B. 仏教

C. キリスト教

ア



イ



ウ



エ



オ



カ





キ



ク



ケ



コ

参考資料

<http://images.pingmag.jp/images/article/hina01.jpg> (ひな祭り)

<http://www.flickr.com/photos/yokohama67yoko/388683426/> (クリスマスツリー)

<http://www.nagoya-yomeiri.jp/?m=201102&cat=3> (神前結婚式)

<http://hibakama.seesaa.net/article/66138392.html> (七五三)

<http://chibikro.blog.so-net.ne.jp/2007-07-04> (七夕)

<http://www.wanoa.com/articles/1657/> (初詣)

[http://www.suginamigaku.org/content\\_disp.php?c=44e00a25350b1...](http://www.suginamigaku.org/content_disp.php?c=44e00a25350b1...) (盆踊り)

<http://susono.jugem.jp/?eid=119> (節分)

[http://kobe-mari.maxs.jp/kamikawa/greenecho\\_kasagata.htm](http://kobe-mari.maxs.jp/kamikawa/greenecho_kasagata.htm) (こいのぼり)

[http://zexy.net/wedding/exp/c\\_7770043801/s\\_0000013674](http://zexy.net/wedding/exp/c_7770043801/s_0000013674) (チャペル結婚式)

### 【評価規準】

20～16 問正解・・・A

15～ 7 問正解・・・B

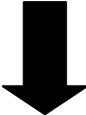
6 問以下の正解・・・C

# 課題についてのレポートを書こう

2年 名前 ( )

## 問1

日本では、生活の中にいろいろな宗教が取り入れられていますが、日本人にとっての宗教はどのような存在だと考えますか。

①最初の自分の意見(5分)	②グループで参考になった意見
	
	
③最終的な自分の意見(結論)	
★ 条件:これらの語群を使いましょう。 [日本人・宗教]	
-----	
-----	
-----	
-----	
-----	
-----	
-----	
-----	
-----	



## ワークシート③ 日本の伝統的な生活（生徒用）

2年 名前（ ）

### 1 日本各地の伝統的な住まいの特色

[作業 ①]【関心・意欲・態度】

○（調べてみよう）

日本の伝統的な住宅の屋根の形に着目すると、なぜ「寄棟」は太平洋側、「入母屋」は近畿地方に多いのか。調べて分かりやすく説明しなさい。

<p><b>○「寄棟」は太平洋側に多い。</b></p> <p><b>理由：</b></p>	<p><b>○「入母屋」は近畿地方に多い。</b></p> <p><b>理由：</b></p>
--	---

### 2 日本人の伝統的な食生活の特色

[作業 ②]【思考・判断・表現】

#### 『ドイツと日本の伝統的な食事の比較』

		ドイツ	日本
食 材	動物性	牛、豚、にわとり	魚
	植物性	じゃがいも	米、麦
食器		ナイフ、フォーク、皿	はし、茶わん、皿
主食		主食、副食の区別なし	米
おもな料理		パン、ソーセージ、 ジャーマンポテト	ご飯、干物、すし、天ぷら
飲み物		ビール	日本酒

問：


参考資料：新しい社会 地理」東京書籍

## ワークシート③ 日本の伝統的な生活（教師用）

### （発問・解答・評価規準）

#### 1 日本各地の伝統的な住まいの特色

〔作業 ①〕【関心・意欲・態度】

##### ○ 関心・意欲・態度のとらえ方

「日本の伝統的な生活」という学習課題に対する関心の高まりを総合的にとらえる。この学習では、学習課題について調べた内容をワークシートへ記入し、その記入内容から課題について考察しようとしているかを評価する。

（参考資料：『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料（中学校社会科）』

国立教育政策研究所 教育課程研究センターより）

##### ○ 調べてみよう

日本の伝統的な住宅の屋根の形に着目すると、なぜ「寄棟」は太平洋側、「入母屋」は近畿地方に多いのか。調べて分かりやすく説明しなさい。

（記入例）

<p><b>○「寄棟」は太平洋側に多い。</b></p> <p><b>理由：</b></p> <p>寄棟屋根は雨の流れがよいという特徴があり、梅雨や夏に雨が多い太平洋側に多くみられる。</p>	<p><b>○「入母屋」は近畿地方に多い。</b></p> <p><b>理由：</b></p> <p>入母屋は、もともと格式が高い屋根として位置づけられ、法隆寺や平安神宮といったところでも見られる。近畿地方は、奈良時代や平安時代に、政治の中心となっていた歴史があるため、その時代に建てられた建物の多くは、入母屋で建てられている。近畿地方に入母屋が、多く見られるのは、そういった背景が考えられる。</p>
--	---

#### 2 日本人の伝統的な食生活の特色

〔作業 ②〕【思考・判断・表現】

##### 『ドイツと日本の伝統的な食事の比較』

		ドイツ	日本
食 材	動物性	牛、豚、にわとり	魚
	植物性	じゃがいも	米、麦
食器		ナイフ、フォーク、皿	はし、茶わん、皿
主食		主食、副食の区別なし	米
おもな料理		パン、ソーセージ、 ジャーマンポテト	ご飯、干物、すし、天ぷら
飲み物		ビール	日本酒

参考資料：新しい社会 地理」東京書籍

問：ドイツと日本の伝統的な食事を比較し、日本の食事が、なぜそのような特色をもつのか、その背景を説明しなさい。

(単元の評価規準)

世界各地の人々の生活と環境の多様性を、自然及び社会的条件と関連付け、人々の生活の様子とその変容を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。

[◎評価規準をもとに、B評価になる場合]

ドイツの伝統的な食事が牛や豚といったものや、主食や副食の区別はなく、**麦やじゃがいも**といったものが中心となっている。一方、日本では昔から**農耕や漁が中心**となっているため、**米が主食で、魚介類をよく食べる**という特色を持っている。

[◎評価規準をもとに、B評価になる根拠]

- ・ドイツ、日本の食材の違いを比較していること。
- ・日本の自然条件を背景とした歴史的な内容について述べていること。

[◎評価規準をもとに、A評価になる場合]

ドイツの伝統的な食事が牛や豚といったものや、主食や副食の区別はなく、**麦やじゃがいも**といったものが中心となっている。一方、日本では昔から**農耕や漁が中心**となっているため、**米が主食で、魚介類をよく食べる**という特色を持っている。日本のこのような特色は、**日本が温暖で島国である**ことに起因していると考えられる。**食生活には、気候や地理的な自然条件に影響される。**

[◎評価規準をもとに、A評価になる根拠]

- ・自然条件と食生活との関連についてふれている。

[◎評価規準をもとに、C評価になる場合]

ドイツの伝統的な食事が牛や豚といったものや、主食や副食の区別はなく、**麦やじゃがいも**といったものが中心となっている。一方、日本では**米が主食で、魚介類をよく食べる**という特色を持っている。

[◎評価規準をもとに、C評価になる根拠]

- ・ドイツと日本の比較をしているだけで、その背景について示していない。

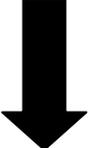
## 資料からの読み取りテスト 2

2年 名前 ( )

### 『ドイツと日本の伝統的な食事の比較』

		ドイツ	日本
食 材	動物性	牛、豚、にわとり	魚
	植物性	じゃがいも	米、麦
食器		ナイフ、フォーク、皿	はし、茶わん、皿
主食		主食、副食の区別なし	米
おもな料理		パン、ソーセージ、 ジャーマンポテト	ご飯、干物、すし、天ぷら
飲み物		ビール	日本酒

問1 ドイツと日本の伝統的な食事について、問いにしたがって記入しなさい。

<p>①資料から見つけた<b>事実</b></p> <div style="border: 1px solid black; height: 150px; margin-top: 5px;"></div>	  	<p>②事実から<b>推測</b>されること</p> <div style="border: 1px solid black; height: 150px; margin-top: 5px;"></div>
--	---	---

③日本の食事の特色についての自分の考え(結論)

★ 条件:これらの語群を使いましょう。 [日本の伝統的な食事、現代の食事]

---



---



---



---



---



---



---



---

## 資料からの読み取りテスト 2

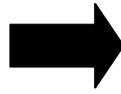
### 『ドイツと日本の伝統的な食事の比較』

		ドイツ	日本
食 材	動物性	牛、豚、にわとり	魚
	植物性	じゃがいも	米、麦
食器		ナイフ、フォーク、皿	はし、茶わん、皿
主食		主食、副食の区別なし	米
おもな料理		パン、ソーセージ、 ジャーマンポテト	ご飯、干物、すし、天ぷら
飲み物		ビール	日本酒

問1 ドイツと日本の伝統的な食事について、問いにしたがって記入しなさい。

#### ①資料から見つけた**事実**

ドイツは、たんぱく質として肉類をよく食べている。穀物は麦やじゃがいもである。  
日本は、主食・副食の区別があるがドイツはない。  
日本は米や魚をよく食べている。



#### ②事実から**推測**されること

日本は、昔から米を中心とした農耕を行ってきた。  
日本は島国なので、魚を食べることが多い。



#### ③日本の食事の特色についての自分の考え(結論)

★ 条件:これらの語群を使いましょう。 [日本の伝統的な食事、現代の食事]

**日本の伝統的な食事**は米を主食とし、魚類をよく食べる。その背景は、歴史的にも農耕がさかんで稲作をしていたことが挙げられる。また、魚をよく食べるのは日本が島国であるという地理的な条件が背景として考えられる。

こうした伝統的な日本の食事は、ドイツなど欧米に近いものへと変化している。**現代の食事**では、パンや肉類もよく食べるようになっており、伝統的な日本の食生活は変化している。

【評価規準】 ※思考力・表現力がついているかを測る目安

- 語群の言葉をすべて使用していること
- ①事実や②推測から、自分の生活との結びつきを基に考えを述べている。

### 「3 変化する生活」

#### (1) 本時の目標

- ・国際化の進展は、日本のくらしにどのような変化をもたらしたのか、いくつかの事例から説明する。
- ・昭和30年代の日本と現在の生活とを比べて、変化しているところを分かりやすくまとめる。

#### (2) 観点別評価規準

- ・国際化の進展は日本の暮らしにどのような変化をもたらしたのか、いくつかの事例から説明している。  
【社会的な思考・判断・表現】
- ・昭和30年代の日本と現在の生活とを比べて、変化しているところを分かりやすくまとめている。

【資料活用の技能】

#### (3) 準備物

- ・ワークシート、写真資料、視聴覚資料 (DVD)、読み取りテスト

#### (4) 本時の展開 (1/1)

	○学習活動・予想される生徒の反応	指導上の留意点	評価規準	評価方法
導入 5分	○昭和30年代と今の生活について考える。(一斉:5分) ・車を持つことが珍しい。 ・洗濯機などはあまり普及していない。 ・電化製品をもつことが珍しい時代だった。	・視聴覚教材を使うことによって、当時の人の様子をつかませ、次の発問につなげる。		
展 開  35分	○昭和30年代の日本の生活の様子を考える。(個人:5分)(グループ:5分) ・畳の生活。 ・いすではなく、正座で生活していた。 ・車以外にも、自転車や馬、リヤカーもある。(歩道がない) ・今の電化製品と形状が異なる。	・「努力を要する」生徒については、今の自分の生活の中には見られない所に着目させる。 ・「十分に満足できる」生徒には、生活様式の変化にも着目させる。 ※ 写真資料や耐久消費財のグラフから、現在の生活との違いを明らかにする。	・昭和30年代の日本と現在の生活とを比べて、変化しているところを分かりやすくまとめている。 【資料活用の技能】	行動観察 ワークシート
	○国際化による日本人のくらしの変化について考える。(個人:5分)→(グループ:10分)→(一斉:10分)	昭和30年代の写真と現在の自分たちの生活とを比べて、どのような変化がありますか。 (※ 過程に関する分析的知識的分析:変化の概括)		・国際化の進展は日本の暮らしにどのような変化をもたらしたのか、いくつかの事例から説明している。 【社会的な思考・判断・表現】
	輸入食料品は、日本のスーパーマーケットなどいたるところで見られる「国際化」を示す一例です。 日本人の生活が「国際化」されていると感じる事例を示しなさい。 (※ 記述的知識:地域等の常識的な構成要素)	・「努力を要する」生徒については、身近なスーパーなど、世界のどこでも見られる光景に着目させる。 ・「十分に満足できる」生徒には、海外に発信されている日本の文化についても考えさせ、国際化の進展についてもとらえさせる。 ※ 具体的な事例を示すことで、明らかにする。		
まとめ 10分	○テストをする。	・学習した内容を確認する	読み取りテスト	

# ワークシート④ 変化する生活（生徒用）

2年 名前（ ）

## 1 昭和30年代の日本人の生活 [作業 ①]【資料活用の技能】



問：

参考資料  
「新しい社会 地理」 東京書籍


## 2 国際化による日本人の生活 [作業 ②]【思考・判断・表現】



問：

参考資料

<http://shop.asama-de.com/life/modules/pickup/index.php?conte...>


## ワークシート④ 変化する生活（教師用）

### （発問・解答・評価規準）

#### 1 昭和 30 年代の日本人の生活

[作業 ①]【資料活用の技能】

問：昭和 30 年代の写真と現在の自分たちの生活とを比べて、どのような変化がありますか。

[◎評価規準をもとに、B 評価になる場合]

昭和 30 年代の家庭には、テレビや扇風機といった電化製品が普及しているが、洗濯機は手動で電話もダイヤル式で、今とは大きく違っている。また車が走っている横で馬やリヤカーも走っている。エアコンや、DVD といったものも普及していない。

[◎評価規準をもとに、B 評価になる根拠]

- ・昭和 30 年代と今の生活とを比較して、大きく変わっているものを取り上げている。
- ・昭和 30 年代には、まだ普及していないものについても、ふれている。

[◎評価規準をもとに、A 評価になる場合]

昭和 30 年代の家庭には、テレビや扇風機といった電化製品が普及しているが、洗濯機は手動で電話もダイヤル式で、今とは大きく違っている。また車が走っている横で馬やリヤカーも走っている。エアコンや、DVD といったものも普及していない。

食事は、家族でそろって食べる団らんのようなすがあり、今のような個別の生活とは違っている。また、畳の部屋で、今のような洋式の生活スタイルとはことなっている。

[◎評価規準をもとに、A 評価になる根拠]

- ・生活スタイルの変化についても取り上げている。

[◎評価規準をもとに、C 評価になる場合]

昭和 30 年代の家庭には、テレビや扇風機といった電化製品が普及している。また車が走っている横で馬やリヤカーも走っている。

[◎評価規準をもとに、C 評価になる根拠]

- ・写真の資料から分かることを述べているだけで、今の自分の生活を振り返っての比較が十分に説明できていない。

#### 2 国際化による日本人の生活

[作業 ②]【思考・判断・表現】

問：輸入食料品は、日本のスーパーマーケットなどいたるところで見られる「国際化」を示す一例です。日本人の生活が「国際化」されていると感じる事例を示しなさい。

[◎評価規準をもとに、B 評価になる場合]

衛星放送やインターネットなどの普及によって、世界中の情報をタイムリーに得ることができる。また服装はどここの国でも同じようなスタイルが見られ、料理についても、その国に行かなくても、食べることができる。

[◎評価規準をもとに、B 評価になる根拠]

- ・生活スタイルや自分たちの身近な所から、「国際化」の具体的な事例をいくつか挙げるができる。

[◎評価規準をもとに、A評価になる場合]

衛星放送やインターネットなどの普及によって、世界中の情報をタイムリーに得ることができる。また**服装は**どこの国でも同じようなスタイルが見られ、料理についても、その国に行かなくても、食べることができる。また、**すしやアニメなど、日本の文化が海外にも広まっており、国際化が進展**している。

[◎評価規準をもとに、A評価になる根拠]

- ・外国の生活様式が日本に入ってくるだけでなく、日本の文化も海外に発信されている現状にもふれている。

[◎評価規準をもとに、C評価になる場合]

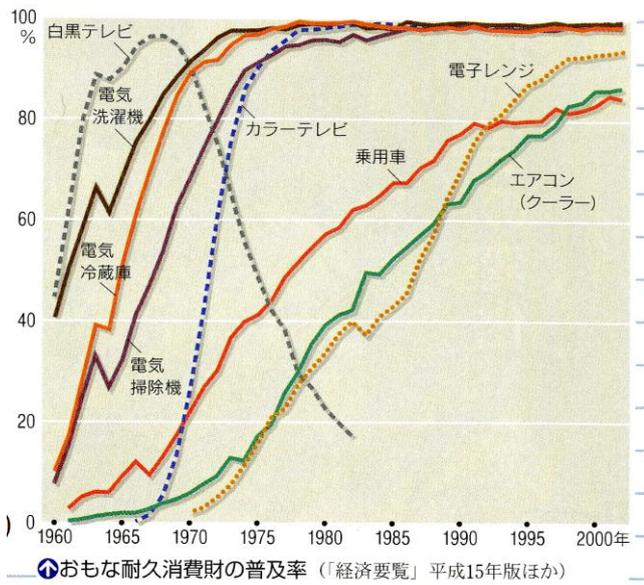
衛星放送やインターネットなどの普及によって、世界中の情報をタイムリーに得ることができる。

[◎評価規準をもとに、C評価になる根拠]

- ・事例の具体例の挙げ方が不十分。

# 資料からの読み取りテスト 3

2年 名前 ( )



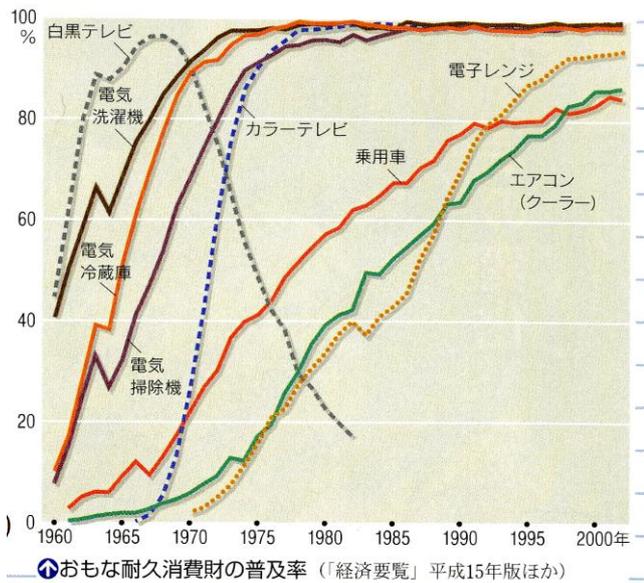
問1 おもな耐久消費財の普及のグラフを見て、問いにしたがって記入しなさい。

<b>①資料から見つけた事実</b>	<b>②事実から推測されること</b>
<div style="font-size: 2em; margin: 0;">➡</div> <div style="font-size: 3em; margin: 0;">↓</div>	
<b>③家電製品(耐久消費財)が普及したことによる生活の変化(結論)</b>	
★ 条件:これらの語群を使いましょう。 [家電製品、変化]	

参考資料 「新しい社会 公民」 東京書籍

# 資料からの読み取りテスト 3

2年 名前 ( )



問1 おもな耐久消費財の普及のグラフを見て、問いにしたがって記入しなさい。

## ①資料から見つけた事実

1960年代から1970年代にかけて家電製品が急速に普及している。冷蔵庫や掃除機、洗濯機は100%近く普及している。エアコンや乗用車電子レンジも少し遅れて普及している。白黒テレビは、カラーテレビが普及し始めると、使われなくなった。いろいろな家電製品が、使われている。

## ②事実から推測されること

冷蔵庫、掃除機、洗濯機と家事にかかわった電化製品が普及すると、さらに生活を便利にする、電子レンジやエアコンや車が普及し始めた。どの家にも、家電製品は普及している。家電製品がいろいろと買えるくらい、経済的に豊かになっている。

## ③家電製品(耐久消費財)が普及したことによる生活の変化(結論)

★ 条件:これらの語群を使いましょう。 [家電製品、変化]

家電製品が普及した理由は、家電製品を買えるくらいに国も国民も豊かになった。そして生活は便利で快適なものへと**変化**した。それは一部の人ではなく、日本人全体的に言えることである。

参考資料 「新しい社会 公民」 東京書籍

【評価規準】

※思考力・表現力がついているかを測る目安

- 語群の言葉をすべて使用していること
- ①事実や②推測から、家電製品の普及が与えた影響について

「4 古都（京都・奈良）に見る伝統文化」

(1) 本時の目標

- ・京都や奈良の歴史的な町並みが残っている背景について、意欲的に課題を追究する。
- ・歴史的な町並みが残っている地域が、どのような取組をしているのか、理解する。

(2) 観点別評価規準

- ・京都や奈良の歴史的な町並みが残っている背景について、意欲的に課題を追究している。

【社会的事象への関心・意欲・態度】

- ・歴史的な町並みが残っている地域が、どのような取組をしているのか、理解している。

【社会的事象についての知識・理解】

(3) 準備物

- ・ワークシート、写真資料（祇園祭、金閣寺等）、レポート

(4) 本時の展開（1/1）

	○学習活動・予想される生徒の反応	指導上の留意点	評価規準	評価方法
導入 7分	○京都や奈良にある世界遺産や伝統的な文化などについて考える。（一斉：7分） ・祇園祭は平安時代から行われている。 ・金閣寺は室町時代に建てられた。 ・古い町並みも残っている。	・世界遺産や、伝統的工芸品などを具体的に示し、京都や奈良の伝統文化に関心をもたせる。		
展 開  38分	○京都や奈良の世界遺産や、伝統的工芸品について考える。（個人：10分）→（一斉：5分）  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     京都や奈良には、どのような世界遺産や伝統的工芸品があるのか調べてみよう。  <b>（※ 記述的知識：構成要素）</b> </div> ・清水焼（伝統的工芸） ・鹿角細工（伝統的工芸） ・法隆寺（世界遺産） ・東大寺（世界遺産）	・個人で調べ、グループになった時に、自分が気付いていなかった世界遺産や伝統的工芸品を記入する。  ・「努力を要する」生徒については、検索をする時のポイントとなることを説明する。 ・「十分に満足できる生徒については、いつの頃に建てられたかなどを記入させる。 <b>※ 京都・奈良、世界遺産、伝統的工芸品を項目別書き、伝統文化に関わるものが多くあることをとらえさせる。</b>	・京都や奈良の歴史的な町並みが残っている背景について、意欲的に課題を追究している。 <b>【社会的事象への関心・意欲・態度】</b>	行動観察 ワークシート
	○景観を守るための具体的な取り組みについて考える。（個人：8分）→（グループ：10分）→（個人：5分）  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     京都の自動販売機や建物は、なぜこのような工夫をしているのか、理由を説明しなさい。  <b>（※ 説明的知識：原因、結果：具体的事例）</b> </div> ・景観条例によって、野外の広告物などを制限している。 ・周りの景色と調和するように配慮がされている。 ・自然の景観を守るところにもつながっている。	・「努力を要する」生徒については、歴史的なものが長く残っていくためには、何が必要か考えさせる。 ・「十分に満足できる生徒については、他の都道府県に同じような取り組みはないか、考えさせる。 <b>※ 法的な根拠などから、理由付けをし、説明することができる。</b>	・歴史的な町並みが残っている地域が、どのような取組をしているのか、理解している。 <b>【社会的事象についての知識・理解】</b>	行動観察 ワークシート
まとめ 5分	○本時のまとめをする	・町なみ等に関する他の地域の事例について、説明する。		

# ワークシート⑤ 古都(京都・奈良)に見る伝統文化 (生徒用)

2年 名前 ( )

## 1 京都や奈良の世界遺産・伝統的工芸品

[作業 ①] 【関心・意欲・態度】

○京都や奈良にある世界遺産や伝統的工芸品には、どのようなものがあるか答えなさい。

	世界遺産	伝統的工芸品
京都		
奈良		

## 2 保存と開発

[作業 ②] 【知識・理解】



問：


参考資料： <http://orange.ap.teacup.com/machikado/70.html> (木目調自販機)

<http://blog.goo.ne.jp/diminutive-artistic-vessels/c/6e35edf3...> (京都市消防局)

## ワークシート⑤ 古都(京都・奈良)に見る伝統文化 (教師用)

### (発問・解答・評価規準)

#### 1 京都や奈良の世界遺産・伝統的工芸品

[作業 ①]【関心・意欲・態度】

○京都や奈良にある世界遺産や伝統的工芸品には、どのようなものがあるか答なさい。

※ 調べる個数などの目安は、生徒の状況に応じて指示する。

	世界遺産	伝統的工芸品
京都		
奈良		

#### 2 保存と開発

[作業 ②]【知識・理解】



問： 京都の自動販売機や建物は、なぜこのような工夫をしているのか、理由を説明しなさい。

【評価の観点】(調べ学習：記述内容によって判断)

○評価規準Bとなる根拠

- ・根拠となる条例などが、書かれていること。
- ・景観を守るための取り組みであることなど、理由があること。

○評価規準Aとなる根拠

- ・上記以外に、他の都道府県などの同じような取り組みについて明記させている。

○評価規準Cとなる根拠

- ・理由付けや、根拠となる説明があいまいである。

参考資料： <http://orange.ap.teacup.com/machikado/70.html> (木目調自販機)

<http://blog.goo.ne.jp/diminutive-artistic-vessels/c/6e35edf3...> (京都市消防局)

「5 独自の生活文化をもつ沖縄」

(1) 本時の目標

- ・沖縄の自然などについて述べた資料から、沖縄の生活や文化についてまとめる。
- ・沖縄の自然、文化、産業などについて、その特色を理解する。

(2) 観点別評価規準

- ・沖縄の自然などについて述べた資料から、沖縄の生活や文化についてまとめている。

【資料活用の技能】

- ・沖縄の自然、文化、産業などについて、その特色を理解している。

【社会的事象についての知識・理解】

(3) 準備物

- ・ワークシート、写真、資料、視聴覚教材

(4) 本時の展開 (1/1)

	○学習活動・予想される生徒の反応	指導上の留意点	評価規準	評価方法
導入 7分	○沖縄の独自の文化にふれる。 (一斉：7分) ・琉球舞踊、自然等を見る (DVD) ・沖縄料理	・沖縄の音楽や生活を知ること で、独自の文化が発展している ことをイメージさせる。		
展 開 28分	○沖縄の生活文化を理解する。 (個人：5分) → (グループ：5分) → (一斉：3分) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                 沖縄の生活文化にはどのような特色がありますか。  <b>(※ 記述的知識:構成要素)</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・15世紀に琉球王国が成立。</li> <li>・17世紀に薩摩藩の支配を受ける。</li> <li>・明治時代に日本の領土なり、沖縄県となる。</li> <li>・アメリカの軍攻下のもと、その後、日本に復帰。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「努力を要する」生徒については、時代ごとに区切って整理しながら課題に取り組みさせる。</li> <li>・「十分に満足できる」生徒については、時代ごとに沖縄の変容つかませ、文化との関連を図らせる。</li> </ul> <b>※ 資料を使い、歴史的な背景に限定する。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄の自然などについて述べた資料から、沖縄の生活や文化についてまとめている。</li> </ul> <b>【資料活用の技能】</b>	行動観察 ワークシート
	○沖縄の自然と産業について考える。 (個人：5分) → (グループ：5分) → (一斉：5分) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                 高知県と沖縄県を比較し、沖縄県の特色をつかみなさい。  <b>(※ 記述的知識:地域などの常識的な構成要素)</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県より温暖である。</li> <li>・高知県も沖縄も台風がよく通る。</li> <li>・さとうきびやパイナップル、花の栽培がさかん</li> <li>・さんご礁を生かした観光がさかん。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「努力を要する」生徒については、地図帳などの資料を十分に活用させる。</li> <li>・「十分に満足できる」生徒については、住居の工夫や農業の工夫の仕方について考えさせる。</li> </ul> <b>※ 比較させることによって特色を明確につかませる。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄の自然、文化、産業などについて、特色を理解している。</li> </ul> <b>【社会的事象についての知識・理解】</b>	行動観察 ワークシート
まとめ 15分	○自分の考えをレポートにまとめる。	・グループでの意見交流などを振り返り、自分の考えをレポートにまとめる。	レポート	

# ワークシート⑥ 独自の生活文化をもつ沖縄（生徒用）

2年 名前（ ）

## 1 沖縄の生活文化を考える

[作業 ①] 【資料活用の技能】

○交流によって築かれた沖縄の生活文化についてまとめよう。

- 15世紀 (室町時代) …… ( ) 王国の成立  
 建国した一族 ( )
- 17世紀はじめ (江戸時代) …… ( ) 藩の支配を受ける
- 19世紀 (明治時代) ……琉球王国→ 琉球藩→ ( ) 県となる
- 20世紀 (昭和時代) ……1945年 沖縄戦。多くの住民がなくなる。( ) の統治下に入る。( ) 年、日本に復帰する。

## 2 沖縄の自然と産業

[作業 ②] 【知識・理解】

○高知県の自然と比べながら沖縄県の特徴をつかみましょう。

項目	高知県	沖縄県
気候帯	温帯、台風がよく来る	( ) 帯、台風は _____
農業	稲作がさかん 園芸農業：促成栽培 (なす、ピーマン、きゅうりなど)	稲作は ( ) 園芸農業： ( )
観光資源	( )	( )

○沖縄が発展していくためには、特色をどのように活用したらいいですか。  
 自分の意見を書きなさい。

**③これからの沖縄**

**★条件: 自分が学習して知ったことを、具体的に入れていること。**

---



---



---



---



---



---



---



---



---

## ワークシート⑥ 独自の生活文化をもつ沖縄（教師用）

### （解答・評価規準）

#### 【評価規準】①と②の合計数

12問～10問・・・A

9問～5問・・・B

4問以下・・・C

#### 1 沖縄の生活文化を考える

[作業 ①] 【資料活用の技能】

○交流によって築かれた沖縄の生活文化についてまとめよう。

15世紀 (室町時代) …… ( **琉球** ) 王国の成立  
建国した一族 ( **尚氏** )

17世紀はじめ (江戸時代) …… ( **薩摩** ) 藩の支配を受ける

19世紀 (明治時代) …… 琉球王国→ 琉球藩→ ( **沖縄** ) 県となる

20世紀 (昭和時代) …… 1945年 沖縄戦。多くの住民がなくなる。( **アメリカ** ) の統治下に入る。( **1972** ) 年、日本に復帰する。

#### 2 沖縄の自然と産業

[作業 ②] 【知識・理解】

○高知県の自然と比べながら沖縄県の特徴をつかみましょう。

項目	高知県	沖縄県
気候帯	温帯、台風がよく来る	( <b>亜熱</b> ) 帯、台風は <b>よく来る</b>
農業	稲作がさかん 園芸農業：促成栽培 (なす、ピーマン、きゅうりなど)	稲作は ( <b>ほとんど行われない</b> ) 園芸農業： ( <b>さとうきび、パイナップル、花</b> )
観光資源	( <b>四万十川、桂浜、坂本竜馬、ほか</b> )	<b>さんご礁、琉球文化、首里城、ほか</b>

○沖縄が発展していくためには、特色をどのように活用したらいいですか。  
自分の意見を書きなさい。(テストとかねて実施することもできる。)

### ③これからの沖縄

★条件:自分が学習して知ったことを、具体的に入れていること。

#### 【評価規準】

- ① 沖縄の文化や食文化などの特性を明記していること。
- ② 学習した内容を組み込んで、表現していること。

(評価記入例)

15世紀の沖縄は、**琉球王国**という一つの独立国であった。この国は尚氏が建国し、この当時残された首都(首里城)は、**世界遺産**になっている。**三線の楽器を使った音楽**や、**ゴーヤなどを食文化**など、沖縄は独自の生活文化をもっている。また一方、第二次世界大戦の末期には、日本で唯一の戦場となり、多くの犠牲者がでた。その後**アメリカの軍政下**に置かれたため、1972年に独立するまで、沖縄の生活文化にアメリカの生活文化が新たな要素として加わった。

気候的には**亜熱帯**なので、周囲の海には**さんご礁**が広がり、亜熱帯の植物も茂っている。水はけの良い土地が多いので、**稲作はほとんど行われず、パイナップルやさとうきび、花が生産**されおり、産業の面でも特色がある。

沖縄は、琉球王国など他の都道府県には見られない歴史、食文化がある、また、亜熱帯の気候など、自然と独自のくらしを生かした産業が期待される。

◆世界の様々な地域の調査(計画:6時間)

「1 テーマを決め、仮説を検証する」(3時間)

(1) 本時の目標

- ・世界の生活や文化に関する調査について、意欲的に課題を追究する。
- ・世界の生活や文化に関する調査について、地図や文献、インターネット情報等の諸資料を読み取り、有効に活用する。

(2) 観点別評価規準

- ・世界の生活や文化に関する調査について、意欲的に課題を追究している。 【関心・意欲・態度】
- ・世界の生活や文化に関する調査について、地図や文献、インターネット情報等の諸資料を読み取り、有効に活用している。 【資料活用の技能】

(3) 準備物 ワークシート、地図帳、新聞、旅行のガイドブック、振り返りカード

(4) 本時の展開 (3時間)

	○学習活動・予想される生徒の反応	指導上の留意点	評価規準	評価方法
導入	○ウェビング・マップで、「自分たちの学校」について考えよう。(一斉:20分)	・自由にイメージさせ、ウェビング・マップの手法を理解させる。		
展開	○調査テーマを決め、仮説を立てる。(全体→個人) 自分の関心のあることを中心にウェビング・マップをつくって、仮説を立てよう。(※ 概念的知識:原因と結果)		・世界の生活や文化に関する調査について、意欲的に課題を追究している。 【関心・意欲・態度】	行動観察 ワークシート
	①自然(気候・地形など)とのかかわり ②社会(人口・交通・産業)とのかかわり ③歴史的な背景 ④他地域との比較  ○自分の仮説を検証する計画を立てよう。 仮説を検証するための調査計画を立て、調べていこう。(※ 規範的知識:理由付けをし、データによる結論を出す。)	※資料が集まる見込みがあるのか、テーマは具体的か、まとめる時に地図化が可能であるかを判断基準にさせる。 ※ 仮説を立てることによって、調査の方向性を決める。 ・「努力を要する」生徒については、自由な発想で書かせる。 ・「十分に満足できる」生徒には、そこから浮かび上がる疑問をいくつも書かせる。  ※ 事実を調べ、自分の仮説を	・世界の生活や文化に関する調査について、地図や文献、インターネット情報等の諸資料を読み取り、有効に活用している。 【資料活用の技能】	行動観察 ワークシート
まとめ	○「振り返りカード」に記入する。	・自分がこの時間で学習したことを書かせる。 ・自分の思ったこと、分からなかったことなども書かせる。		

# ワークシート⑦ 世界の様々な地域の調査（生徒用）

2年 名前（ ）

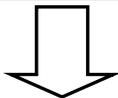
## 1 テーマを考えよう

[作業 ①]【関心・意欲・態度】

○自分の興味や関心があることで、ウェビング・マップをつくり、疑問に思うことを見つけてみよう。

### ☆ウェビング・マップ

### ☆疑問に思ったことを書こう



### ☆仮説を立ててみよう



## ワークシート⑦ 世界の様々な地域の調査（教師用）

### ☆視点

単元学習のまとめとしての位置づけである。既習の知識や技能を生かして、探究学習を行うことで、言語活動を充実させることが期待される。また、ワークシートを活用することによって、記入内容から、生徒個々の多様な学習内容を読み取ることができる。目標や評価規準に照らした達成状況やつまづきを適切に評価することが可能となる。

### （評価規準・指導のポイント・記入例）

#### 1 テーマを考えよう

[作業 ①] 【関心・意欲・態度】

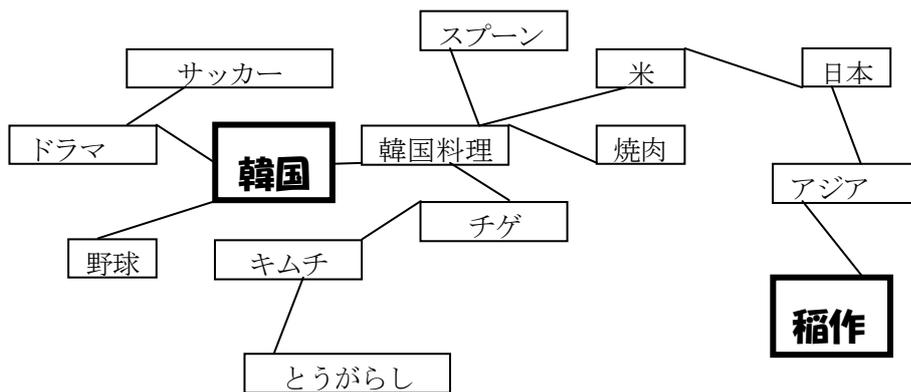
○自分の興味や関心があることで、ウェビング・マップをつくり、疑問に思うことを見つけてみよう。

#### ○評価規準の観点

世界の様々な地域の特色や課題をとらえるという学習課題や調査自体に対する関心の高まりを総合的にとらえる。手法としては、ワークシートへの記入内容から、考察することができる。

（記入例：「韓国」をキーワードにした場合）

#### ☆ウェビング・マップ



- ① 語句を自由に書き、マップがある程度広がったら、疑問を赤ペンで書き込む。
- ② 特に興味をもてたもの、調べたい地域の特徴が見えそうなものをチェックする。

#### ☆疑問に思ったことを書こう

- どうしてとうがらしを使った料理が多いのか、韓国の食文化にはどのような特色があるのか。
- どんな所が米を作っているのか。（どんな所なら米を作れるか。）

#### 2 調査計画を立てよう

[作業 ②] 【資料活用の技能】

○仮説を検証するための調査計画をまとめて、調べていこう。

#### ○評価規準の観点

資料収集やそこから有用な情報を選択したり、結果を図表などにまとめたりすることに重点を置いて、「資料活用の技能」の観点として扱う。調査結果を分布図に描いたりまとめたりすることは、思考や判断とも強く結びつく内容である。しかし、ここでは課題を追究していく過程で、資料の意味を理解し、活用するまでの段階を「資料活用の技能」として取り扱う。

## 調査テーマ

記入例：(2例)

ア 韓国の食文化の背景

イ 稲作のさかんな地域の特徴

### 私の予想

### 調査方法

#### 〈仮説〉(アについて)

①とうがらしを使った料理が多いのは、気候が関係しているからである。

#### 〈調査にあたって〉

##### ・どのような種類の資料を使ってまとめているのか？

- ・韓国の気候に関するデータを比較し、気候や生活の特徴を明らかにする。そのことによって、食文化への気候の影響を見出すことができる。
- ・生活と環境とのかかわりを知るために、各地の料理を調べる。
- ・農産物・水産物から食文化を考える。

#### ・調べる時に、利用するもの

- ・地図帳で、日本と韓国の位置(緯度など)や気温、降水量のグラフと比較する。
- ・文献、インターネットで韓国料理ととうがらしとの関係を調べる。
- ・統計資料などで、農産物(米や野菜)、水産物について日本と比較する。
- ・韓国各地の特産物を作った料理を調べる。

テーマ決定の際の注意点

- ①資料が集まる見込みがあるか。
- ②テーマは具体的か。
- ③まとめる時に地図化することができるか。

参考資料：『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料(中学校社会科)』

国立教育政策研究所 教育課程研究センターより

『新しい社会 地理』東京書籍

◆世界の様々な地域の調査(計画:6時間)

「2 仮説を検証し、分析したことをまとめる」(3時間)

(1)本時の目標

- ・世界の生活や文化に関する調査について、多面的・多角的に調査、考察し、表現できる。
- ・調査結果を分析し、整理してレポートにまとめる。

(2)観点別評価規準

- ・世界の生活や文化に関する調査について、多面的・多角的に調査、考察し、表現できる。

【思考・判断・表現】

- ・調査結果を分析し、整理してレポートにまとめる。

【知識・理解】

(3)準備物 ワークシート、地図帳、振り返りカード、レポート

(4)本時の展開 (3時間)

	○学習活動・予想される生徒の反応	指導上の留意点	評価規準	評価方法
導入	○自分の調査についての振り返りをする。 ・資料の見直しをする。 ・足りない資料を集める。 ・まとめに入る。	・資料の収集の方法や内容などが、分析やまとめをするのに十分かどうか確認をする。		
展開	○調査結果を分析し、まとめて、みよう。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     仮説を検証し、調べたことをまとめてみよう                      (※ 説明的知識:仮説の検証)                 </div> ・グラフ(棒・折れ線・円など)にまとめる。 ・写真や地図を貼り付ける。 ・分布図や表などにまとめる。 ・主題図をつくる。 ・レポートにまとめる。 ・壁新聞にまとめる。  ○まとめたことを発表する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     調査を行う時の視点や分析を中心に発表しよう。                 </div> ・はっきり、ゆっくり話しかけるように発表する。 ・聞き手をひきつけるような工夫をする。 ・調査内容を整理し、自分とちがう所など、いろいろな考え方があることを、聞きながら発見する。	※ 資料を活用し、仮説を検証させる。 ・「努力を要する」生徒については、ポイントを絞らせて、グラフや表を活用させる。 ・「十分に満足できる」生徒には、今後の課題などについてもふれさせる。	・世界の生活や文化に関する調査について、多面的・多角的に調査、考察、表現している。  【思考・判断・表現】  ・調査結果を分析し、整理してレポートにまとめている。  【知識・理解】	行動観察 ワークシート レポート レポート  行動観察 ワークシート レポート
まとめ	○「振り返りカード」に記入する。	・自分がこの時間で学習したことを書かせる。 ・自分の思ったこと、分からなかったことなども書かせる。		

## ワークシート⑧ 世界の様々な地域の調査（生徒用）

### 1 まとめてみよう

[作業 ①] 【思考・判断・表現】

○次のことをポイントにまとめてみよう。

- ①なぜ、このテーマにしたのか、どんな疑問があったか。（調査の動機）
- ②調査によって知りたいこと、自分の立てた仮説を書く。
- ③調査方法
- ④自分の考えた仮説はどうだったのか、検証する。（調査の結果）
- ⑤感想や今後の課題
- ⑥参考文献、ホームページを載せる。

まとめ方：利用例 【知識・理解】

- グラフ化する。（棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ）
- 写真やイラストを使って説明する。
- 表にまとめる。
- 文章で説明する。
- 地図化する。
- 壁新聞にする。
- プレゼンをする。

## ワークシート⑧ 世界の様々な地域の調査（教師用）

### 1 まとめてみよう

〔作業 ①〕【思考・判断・表現】

○次のことをポイントにまとめてみよう。

- ①なぜ、このテーマにしたのか、どんな疑問があったか。（調査の動機）
- ②調査によって知りたいこと、自分の立てた仮説を書く。
- ③調査方法
- ④自分の考えた仮説はどうだったのか、検証する。（調査の結果）
- ⑤感想や今後の課題
- ⑥参考文献、ホームページを載せる。

【思考・判断・表現】

○評価規準の観点

地図やグラフから正確に読み取った事実とそれを基に、複数の地図や資料と重ね合わせて合理的な解釈になるようにまとめていくこと。読み取った事実とそれを基に自分が分析して解釈したこととを分けて説明できるかがポイントとなる。個人の**考察**の過程や結果を文章に詳しく**表現したもの**を評価とする。

まとめ方：利用例 【知識・理解】

- グラフ化する。（棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ）
- 写真やイラストを使って説明する。
- 表にまとめる。
- 文章で説明する。
- 地図化する。
- 壁新聞にする。
- プレゼンをする。

【知識・理解】

○評価規準の観点

調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方や発表ができているかで評価する。

参考資料：『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料（中学校社会科）』

国立教育政策研究所 教育課程研究センターより

「新しい社会 地理」東京書籍